

科目名	薬と医療行為 2							年度	2026
英語科目名	Medicine and medical practice 2							学期	後期
学科・学年	医療事務科 2年次	必/選	選	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	照井 裕子	教員の実務経験		有	実務経験の職種		公認心理師		
【科目の目的】 様々な病気について、関連部位、原因、診断名、治療法、関連する薬を理解する。特に身体のしくみと、それに関連する病気、薬の作用について理解する。									
【科目の概要】 処置、手術、検査等の医療行為を関連づけて病気や薬剤を理解します。									
【到達目標】 A. 薬の法律を理解できる。 B. 薬の名称および種類を理解できる。 C. 医薬品と処方を理解できる。 D. 薬物療法を理解できる。 E. 薬物の作用を理解できる。									
【授業の注意点】 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は試験を受験することができない。授業の進捗状況により、内容が前後する場合がある。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	薬の法律を深く理解し、カルテを読み取る基礎に生かすことができる	薬の法律を深く理解することができる	薬の法律を理解することができる	薬の法律をほとんど理解していない	薬の法律を理解していない				
到達目標 B	薬の名称および種類を深く理解し、カルテを読み取る基礎に生かすことができる	薬の名称および種類を深く理解することができる	薬の名称および種類を理解することができる	薬の名称および種類をほとんど理解していない	薬の名称および種類を理解していない				
到達目標 C	医薬品と処方を深く理解し、カルテを読み取る基礎に生かすことができる	医薬品と処方を深く理解することができる	医薬品と処方を理解することができる	医薬品と処方をほとんど理解していない	医薬品と処方を理解していない				
到達目標 D	薬物療法を深く理解し、カルテを読み取る基礎に生かすことができる	薬物療法を深く理解することができる	薬物療法を理解することができる	薬物療法をほとんど理解していない	薬物療法を理解していない				
到達目標 E	薬物の作用を深く理解し、カルテを読み取る基礎に生かすことができる	薬物の作用を深く理解することができる	薬物の作用を理解することができる	薬物の作用をほとんど理解していない	薬物の作用を理解していない				
【教科書】 適時、プリント配布									
【参考資料】 特になし									
【成績の評価方法・評価基準】 課題、小テスト、試験等を含めて総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		薬と医療行為 2			年度	2026
英語表記		Medicine and medical practice 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標 = 修得するスキル	評価方法	自己評価
1	薬物の毒性(1)	薬物療法とは何か	1 腎障害	薬物の毒性を理解している	1	
			2 造血管障害	薬物の毒性を理解している		
			3 血液凝固障害	薬物の毒性を理解している		
2	薬物の毒性(2)	法律の種類とは何か	1 消化器管障害	薬物の毒性を理解している	1	
			2 内分泌障害	薬物の毒性を理解している		
			3 神経障害	薬物の毒性を理解している		
3	薬物の毒性(3)	薬の種類とは何か	1 精神障害	薬物の毒性を理解している	1	
			2 視力障害	薬物の毒性を理解している		
			3 催奇性	薬物の毒性を理解している		
4	薬物の毒性(4)	薬の分類とは何か	1 発がん性	薬物の毒性を理解している	1	
			2 医原性疾患	薬物の毒性を理解している		
			3 薬物の剤形	剤形を理解している		
5	神経系(1)	神経系薬物とは何か	1 全身麻酔薬	神経系に作用する薬物を理解している	1	
			2 局所麻酔薬	神経系に作用する薬物を理解している		
			3 抗精神病薬	神経系に作用する薬物を理解している		
6	神経系(2)	神経系薬物とは何か	1 抗うつ薬	神経系に作用する薬物を理解している	1	
			2 抗不安薬	神経系に作用する薬物を理解している		
			3 睡眠薬	神経系に作用する薬物を理解している		
7	神経系(3)	神経系薬物とは何か	1 抗てんかん薬	神経系に作用する薬物を理解している	1	
			2 解熱薬	神経系に作用する薬物を理解している		
			3 鎮痛薬	神経系に作用する薬物を理解している		
8	循環器系	循環器系薬物とは何か	1 冠拡張薬	循環器系に作用する薬物を理解している	1	
			2 血管拡張薬	循環器系に作用する薬物を理解している		
			3 降圧薬	循環器系に作用する薬物を理解している		
9	呼吸器系	呼吸器系薬物とは何か	1 気管支拡張薬	呼吸器系に作用する薬物を理解している	1	
			2 鎮咳薬	呼吸器系に作用する薬物を理解している		
			3 去痰薬	呼吸器系に作用する薬物を理解している		
10	消化器系(1)	消化器系薬物とは何か	1 健胃・消化薬	消化器系に作用する薬物を理解している	1	
			2 消化性潰瘍治療薬	消化器系に作用する薬物を理解している		
			3 下痢	消化器系に作用する薬物を理解している		
11	消化器系(2)	消化器系薬物とは何か	1 止痢薬	消化器系に作用する薬物を理解している	1	
			2 利胆薬	消化器系に作用する薬物を理解している		
			3 胆石溶解薬	消化器系に作用する薬物を理解している		
12	血液系	血液系薬物とは何か	1 造血薬	血液系に作用する薬物を理解している	1	
			2 止血薬	血液系に作用する薬物を理解している		
			3 抗血栓薬	血液系に作用する薬物を理解している		
13	内分泌系(1)	内分泌系薬物とは何か	1 甲状腺ホルモン剤	内分泌系に作用する薬物を理解している	1	
			2 抗甲状腺薬	内分泌系に作用する薬物を理解している		
			3 糖尿病治療薬	内分泌系に作用する薬物を理解している		
14	内分泌系(2)	内分泌系薬物とは何か	1 副腎皮質ホルモン剤	内分泌系に作用する薬物を理解している	1	
			2 脂質異常症治療薬	内分泌系に作用する薬物を理解している		
			3 利尿薬	泌尿器系に作用する薬物を理解している		
15	その他	薬物療法とは何か	1 ビタミン剤	薬物療法を理解している	1	
			2 化学療法剤	薬物療法を理解している		
			3 消毒薬	薬物療法を理解している		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等